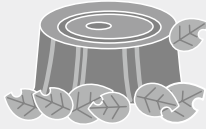




まちづくり

大潟



まちづくり大潟広報版

お知らせ 第111号
 発行 まちづくり大潟
 発行責任者 後藤 紀一
 発行日 平成26年11月1日
 TEL/FAX 534-6810/6815

HP <http://o-gata.hs.plala.or.jp>
 E-mail bz821727@bz03.plala.or.jp

運動会シーズン到来！

各町内会運動会や

「近所同士のまえ合い」

9月、喧噪の夏が終わり爽やかな秋風を感じる中、町内会による運動会が各地で行われました。快晴の21日(日)には、雁子浜、四ツ屋浜、渋柿浜町内会が、それぞれ工夫を凝らした競技で老若男女が一緒になって心地よい汗を流しました。

中でも、雁子浜町内会の運動会は歴史が古く、今年で37回を数えます。競技は、子供から老年寄りまで、皆が参加できるようレクリエーション中心に工夫されており、8つの隣組対抗戦！小中学生の少ない組には、子供



水運びリレー。最後の一杯が勝負の決め手となりました。(雁子浜)

会がうまく子供たちを助つ人として班分けするなどしています。組長を中心に、ご近所同士が力を合わせて盛り上がりました。運動会のあとは、反省会と言う名の打ち上げ懇親会もお楽しみの一つで、恒例となっています。町内会長の熊木清さんは、「一年に一度、家族みんなで参加できる行事だから、親睦と交流の機



ジュースの早飲み競争。炭酸入り500mlに大苦戦！(雁子浜)



ゲートボール種目。規定の距離に近いところまで転がす、微妙な匙加減が難しい。(雁子浜)

会としてずっと続けていきたい」と話していました。

渋柿浜では、20の隣組を4チーム編成にした対抗戦。広い運動広場を使って各種目に挑みました。超大玉送りは、さらに2チームが協力し合い2つに分かれて行う総力戦。大縄跳びは縄を回すテクニクと跳ぶ人の体力勝負となり、応援にも熱がはまりました。



チームワークで勝負。息を合わせて跳びます。(渋柿浜)



大玉送りはお手の物?! 勢いよく転がり、熱戦となった。(渋柿浜)



大潟歩こう会

会長 平原善雄(犀潟)

『大潟歩こう会』は自然を愛する仲間と一緒に歩くことで、健全な気力と健康な体力を育て、会員相互の親睦を図るとともに、明るく豊かな地域づくりを目的として平成16年10月に発足しました。当時は40名程度だった会員も現在は146名になりました。

活動は、定例歩こう会を毎月1回開催しています。(8月と12月・2月は無し) 大潟区域の他、県内各地、長野県や富山県まで行くこともあります。一年の計画が春の定期総会で承認された後、会の役員が、毎月の行き先のコースを事前に下見、点検をして、安全には十分な配慮をしながら当日を迎えます。

この例会は、今年の8月で通算85回目となりました。この10月で10周年を迎えたので、9月21・22日(日・月)に、一泊二日の会発足10周年記念イベントとして『安曇野北アルプス展望の道』を43名の会員が参加し、楽しくウォーキ



十周年記念『安曇野北アルプス展望の道』の参加者

ングし親睦を図りました。ウォーキングは通勤、通学、買い物、散歩など、いつでもどこでも簡単に持続出来る有酸素運動ですが、日常のウォーキングだけでなく、時々、こうした定例会に参加して、季節の風景や街並みを楽しんだり、仲間と交流を深めながら一緒に歩くのも気分転換になります。当会はいつでも入会が出来ます。皆さんの参加をお待ちしています。

産業福祉部会

新しいスイーツができました

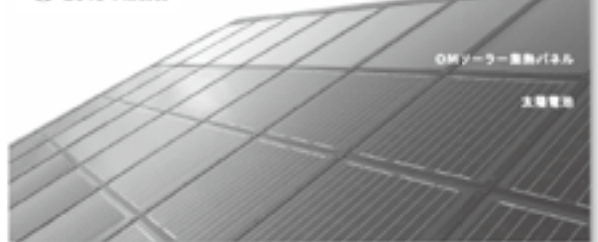
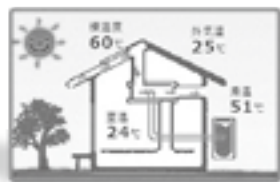


大橋さんの説明に、真剣に聞き入る参加者のみなさん

産業振興部会主催の「いちじくスイーツ」造り教室が、10月11日(土)保健センター調理室で行われました。講師の大橋丈夫さん(菓子作り1級技能士・潟町一区)の指導のもと、20名の参加者が、『いちじくパイ』造りに取り組みました。地元産の日本いちじくを使って3種類のパイを作りましたが、参加者の皆さんは、さすが大潟区の方だけあり、いちじくの扱いには慣れており、見事な出来上がりでした。

試食会では、皆さん、「大変美味しい」と好評でした。各ご家庭でも『日本いちじく』を使ったお菓子作りに挑戦し、『いちじくの大潟』をPRしてください。

「ほんのり、ほんわか OM家族。」
完成見学会! 11/22(土) 23(日)
会場: 吉川区田尻地区 10:00~17:00



太陽で暖房・発電・給湯・換気 4つの働き!
OMクワトロソーラーで暮らしをもっと快適に

↑携帯電話をかざして、QRコードを読み取って下さい!

※ 家の中の太陽の働きが見えるエコナビシステムをご覧になれます ※

詳しくは、インターネットで [久保田建築](#) ⇒ 検索



人魚塚をずっと語り続けたい

平原周司さん (犀潟)



毎夜、常夜灯目当てに海を渡ってくる娘...

小川未明の「赤いろうそく」と人魚の元になったと言われる雁子浜の人魚塚の物語。

「悲しくも純粋な物語を後世に伝えたい」と平原さんは、詞を作ったきっかけを話してくださいました。

天保の頃より伝わる物語を、現代文で作詞するにあたり、過去の文献をひもとくとき、登場人物の心情を文字に乗せることに苦労したそうです。

平成13年、作詞が完成し、暫く温めていましたが、平成25年、書家の桑山戯魚氏に類への筆写を依頼しました。町おこしの一環になればと、当初、総合事務所へ寄贈しました。その後、大勢の人に観てもらいたいという大潟区の願いから、現在は、鵜の浜人

魚館の2階に飾られています。

作詞をしてみても平原さんは、「昔の人たちはこの物語を通して、日本人の古くから伝わる心情を後世に伝えたいかたのではないかと思います。」と静かに語ってくださいました。

雁子浜の人魚塚

天明の悲恋物語

作詞 平原周司

一、頃は天明 神無月

佐渡の島から 今宵また

常夜灯めあてに 通い来る

妖し娘の 賭けた恋

二、許嫁 居りながら

逢瀬柔しむ 若者は

母親に止められ その一夜

灯す常夜灯の 約破る

三、見えぬ常夜灯の 黒い海

髪振り乱す 形相は

恋に破れた 怨霊か

打ち上げられて 夢無惨

四、罪の深さに 若者は

哀れ身を投げ 後を追つ

情を寄せた 村人は

常夜灯の下に 比翼塚

五、飢饉に一揆 浅間焼け

地震戦争と 変われども

今に伝える 悲恋物語

純情可憐 胸を打つ

えちごぐびき野

100kmマラソン

第10回記念大会

10月12日(日)、危惧された台風19号の影響もなく天候にも恵まれえちごぐびき野100kmマラソン大会が行われました。

隔年ごとの開催で今回は高田開府400年と重なった第10回の記念すべき大会となりました。

過去最多の2627人の選手が参加し、秋色の深まったぐびき野の山野を100kmと60kmのコースに分かれて走り抜きました。

えちごぐびき野マラソンは国内屈指の難コースで知られると共に、ボランティアによるおもてなしも最高とマラソン愛好者の間では非常に評価の高い大会になっています。

大潟区は100kmの部の通過コースで2000人を超えるボランティアの人数がエードスデーション(選手支援所)や沿道で選手を応援しました。



鵜の浜エードステーションでおもてなし

みなさまの快適生活をお守りします!

水廻り ガス 下水道 住宅設備

水廻りのリフォームしたいんだけどどこに電話したらいいのから?

そろそろこのコンロもだめねえ

お湯の出が悪いの



地域の皆様と共に 街の親切なガス・水道・リフォーム屋さん

株式会社 イズミ 店舗営業所

最新情報はこちら☆イズミホームページ <http://www.j-izumi.jp>

365日アフターサービス

より一層のお客様満足へ! 4月より新店舗オープン

日曜祝日もオープン!



この看板が目印!



国道8号沿いしみず屋さん近く!

☎ 025-534-6886

本社 / 上越市黒井 2598-29 TEL.025-544-5510 大潟営業所 / 上越市大潟区雁子浜 367-63 TEL.025-534-6886

大潟区暮らしのカレンダー 11月

月・日	曜日	行事等	問合せ先
11・5	水	2歳児健診 (受付時間 13:00~13:20) 大潟保健センター 【対象 H24年7月~9月生】	福祉班
11・6	木	いきいきサロン・渋柿浜町内会館	まちづくり大潟
11・8	土	えほんのひろば (10:00~11:00) 大潟地区公民館 【対象 幼児から小学生】	大潟地区公民館
11・9	日	農林水産業フェスティバル 夢大地おおがた (9:00~12:00) 大潟カントリーエレベーター前広場	産業建設業務 窓口班
11・13	木	いきいきサロン・やすらぎの家	まちづくり大潟
11・19	水	いきいきサロン・下小船津浜町内会館	まちづくり大潟
11・20	木	いきいきサロン・土底浜町内会館	まちづくり大潟
		離乳食(初期)相談会 (受付時間 9:15~9:30) 大潟保健センター 【対象 H26年6月生】	福祉班
		離乳食(中期)相談会 (受付時間 10:15~10:30) 大潟保健センター 【対象 H26年4月生】	福祉班
11・21	金	いきいきサロン・メンズ会	まちづくり大潟
11・25	火	いきいきサロン・上小船津浜町内会館	まちづくり大潟
		3か月児健診 (受付時間 13:00~13:20) 大潟保健センター 【H26年7月~8月生】	福祉班
11・27	木	いきいきサロン・犀潟町内会館	まちづくり大潟

《定休日等》
 鶴の浜人魚館(毎週火曜日、
 11/4・5・6はメンテナンスのため休館)
 体育センター、体操アリーナ
 (毎週月曜日、祝日の場合は翌日)

問合せ	まちづくり大潟	534-6810
	大潟区総合事務所	
	総務班、地域振興班	534-2111 (代)
	産業建設業務窓口班	534-6803
	市民生活班、税務班	534-6807
	福祉班	534-6805
	教育・文化班	534-6808
大潟地区公民館	534-4367	

大潟区の 人口9,837人 世帯数3,433世帯
 (平成26年10月1日現在)

まちづくり大潟からの

お知らせ

第4回 健康作り講演会
『認知症について』
 講師 水澤 英洋
 (頸城区出身)

日時 11月23日(日・祝)
 午後1時30分~約90分

会場 大潟コミュニケーションプラザ
 多目的ホール

問合せ まちづくり大潟事務局
 電話 534・6810

大潟区総合事務所からの

お知らせ

「卯の花音楽祭実行委員」
を募集しています

卯の花音楽祭実行委員会では、郷土出身の音楽家、小山作之助先生を顕彰し、偉大な業績を一人でも多くの方から知っていただくために、音楽祭の企画・運営などを行っています。

地域の誇りを守り、伝えるために一緒に活動しませんか。

▼申し込み・問合せ
 卯の花音楽祭実行委員会事務局(教育・文化班)
 ☎ 534・6808

— 広 告 —

懐かしいSPレコード!
 手回し蓄音機によるコンサートです!



日時：平成26年11月15日(土曜日)
 17時30分開演(17時開場します)
 場所：頸城区城野腰「樹下美術館」
 参加費：お一人様 1200円
 中高生 800円
 お申込み：樹下美術館窓口で、または
 お電話で 025-530-4155

『曲目』

- クラシック：バッハ「G線上のアリア」、モーツァルトのピアノ曲など
- ジャズ、ポピュラー、ラテン：ダイナ・ショアー「青いカナリア」、江利チエミ「テネシーワルツ」など
- 歌謡曲：美空ひばり「越後獅子」
- 童謡：川田孝子「月の砂漠」など

*合計20曲前後で、当日一部内容が変わることがあります

『晩秋のひとつき 過ぎし日を思い、
 『あるいは異文化体験を、
 樹下美術館 上越市頸城区城野腰451番地 Tel.025-530-4155